

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839 E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 B-3 「学校人権・同和教育3回連続講座③」を実施しました！

2月9日(月)、「学校人権・同和教育3回連続講座③」の研修講座を実施しました。ラストの3回目である本講座の前半は、公開授業を



していただいた久米小学校：寺嶋さん、城東中学校：鎌田さんに受講者から寄せられた質問に答えていただきました。加えて授業後のAの様子や周りの



子どもたちとAとの関わり、Aの生活背景について等、より深く学びたい点を出し合い、意見交流しました。後半は受講者一人一人が、年間を通しての自らの気づきや連続講座での学びなどを伝え合いました。以下に受講者の学びを掲載します。【一部抜粋】

・視点児Aの保護者との関係づくりを意識した。良いことも含めてことあるごとに保護者に連絡した。すると保護者からも困っていることを相談してくれるようになった。保護者と教師がAへの思いを共有することが大切とわかった。自分だけがAの良さを知っているのではなく、周りの子どもたちにも共有することを意識して取り組んだ。

・Aに「こんな力をつけさせたい」という考えはあるけれど、なかなか実践できていない。本当のAの気持ちを引き出せなかったという反省がある。「話す」ことができなかった。休み時間とかいっぱい話した。でも本当のAの気持ちはどうだったのか。「書く」という活動とか、引き出す手立てをもっととるべきだった。

・はじめは生徒の気になる行動だけで終わってしまっていた。他の先生方からのアドバイスをもらって、「この子はなぜそのような行動をしたのか」と聞いたり考えたりするようになった。保育所の時のことも聞き取る中で見えてきた。Aの話聞いていくとAが少しずつ自分のことを話してくれるようになった。タブレットに書いてくることもあった。教えてもらったことが少しずつできるようになってきた。

全ての教育活動の基盤は、人権・同和教育であると考えます。これからもそれを基盤に据えた授業づくり・学級づくり・子どもたちや保護者との関係づくりに取り組んでもらいたいと思います。

アンケートより【一部抜粋】

・これまでの学習内容をふり返ることができたり、他の先生方のふり返りを聞かせてもらったりすることで、視点児(生)との関わり方や向き合い方、もっと自分が良くてできることを考えることができました。保幼・小・中の子どもたちの姿を知ること、「今」の子どもたちにつけておきたい力は何かをこれから考えていきたいと思います。【幼】

・今回の研修でいろいろな方法や子どもとの関わり方、人権教育の考え方を学ぶことができました、気づいたのは、自分自身が人権について何も知らないということです。子どもの実態も把握しきれていなかったことや、無計画な人権教育をしてしまっていたこと、子どもとの対話が充分にできていなかったことなど挙げるときりがありません。今回そういったことを学べたことで、これから自分が勉強すべきことが明らかになりました。今日からも学んでいきます。【小】

・小・中両方の取組について聞かせていただき、つながりを考えて指導することについて、改めて考えました。他の先生方の質問されている視点からも学ばせていただくものがたくさんあり、自分はまだまできることがあると考えることができました。これからもA(視点生)やその保護者との関わりで、もっと密に連絡をとるようにするなどして、いろいろな話をしていけるようにしたいです。【中】